

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2010年8月号 通巻20号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2010

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

真剣勝負！タヌキVSネコVSイヌ

既に勝負はついてますが…



暗い場所で撮っているので画像があまり良くないのはご勘弁を。2枚ともエサを食べているネコにタヌキが突進してきたところ。(左)ではネコは威嚇はしているが全然効果がない。(右)はネコが逃げ出す瞬間。タヌキは無言で突進してくる。いずれも2010年7月、文京区で撮影。同じ日だがそれぞれ別時刻に撮影。

タヌキ、ネコ、イヌ。これらは同じ食肉目に分類され、体格も近い動物たちです。街中で彼らが遭遇することもあるでしょう。その時、いったい何が起きているのでしょうか。

タヌキVSネコの場合、東京タヌキタイムズ2009年12月号にも書いたように、ネコが逃げ出してしまいます。5m以上距離があってもネコが先に逃げます。とにかくタヌキの方が圧倒的に優勢です。時々、ネコに威嚇されてタヌキが帰っていくこともあります。気が強いネコでないとも威嚇する度胸はないでしょう。

だからといってタヌキがネコを襲うことはありません。せいぜいおどかさず程度です。体格がそう違わない者同士が本気で戦うとなるとかなりの流血沙汰になるでしょう。そこまでのリスクはとらないようです。

イヌは天敵…だった

タヌキVSイヌは、私が観察した限りではタヌキはイヌを非常に警戒

し、近づいてこようものなら逃げてしまいます。ネコの場合とは逆なのです。一方で、イヌの散歩中にタヌキと遭遇された方たちの例では、タヌキがすぐには逃げなかったことも少なくありません。どうもタヌキはイヌにリード(ひも)がついていることを見切っているようなのです。また最近の飼い犬はしつけもちゃんとしていておとなしいことも(そして小型犬が多いことも)、タヌキが逃げない理由かもしれません。イヌの方も見たことがないイヌっぽい動物を前にして戸惑っていたのかもしれませんが。もしイヌがワンワン吠えて飛びかかりそうな様子を見せればタヌキもダッシュで逃げ出すでしょう。

いずれにせよタヌキにとってはイヌは歓迎できない相手であるのは確かです。かつて野良犬が街中をうろうろしていた時代はタヌキには住みにくかったことでしょう。しかし現在では東京都23区で野良犬を見ることは非常にまれです。そのためタヌキは安心して生活できるようになったと考えられます。タヌキの目撃例

が増えたのは、野良犬が減ってタヌキの生息場所が拡大したせいかもしれません。

ではハクビシンは？

ここで忘れてはならないのがやはり食肉目で大きさも同じぐらいのハクビシンです。残念ながらハクビシンが他の動物と遭遇する場面の目撃例はとても少ないため詳しい力関係はわかりません。ただ、「ハクビシンの後をネコがついていく」という例が3件ありました。ということはハクビシンの方が弱いのかも？でもハクビシンは電線でも屋根でも歩けますのでネコが特別の脅威になることはないでしょう。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>